



3歳から始めたスノーボード

3歳の時、父が僕のためにスノーボードを買ってきてくれたのがきっかけです。元々、父が昔やっていて、男の子が生まれたら一緒にやろうと考えていたようです。最初は少し恐怖心もありましたが、やってみたら面白く、すぐに滑れるようになりました。

誰よりも最“高”のエアを

ハーフパイプは友達に誘われて始めました。ジャンプを高く飛ぶことができ、みんなに褒められたのがうれしく、もっと高いエアを決めたいと思いました。

小学4年生の時には、SALOMON ジュニアライダーセレクションに合格。現在も、全国から集まった同世代の選手たちと切磋琢磨しています。また、札幌のCruiseというチームにも所属。北海道には練習場が盤溪にしかないので、夏は山梨県の室内練習場で合宿したり、昨年は冬季オリンピックが行われた韓国の平昌にも遠征に行きました。

スノーボード ハーフパイプ選手

つちはら りょうた
土原 遼大 さん

(西当別中1年)



ハーフパイプとは…

スノーボードの競技の一つで、半円筒状のコースを滑り、ジャンプやスピンなどの技を競います。

飛び方を工夫するのが魅力

ハーフパイプは地域によってコースの長さや高さが異なり、加えて気温や風などのコンディションもその日、その瞬間によって変わります。状況を見極め、飛び方を毎回工夫するのが楽しいです。思っていたとおりに飛べた時のうれしさは、言葉では言い表せません。

夢はオリンピックで金メダル

将来はもちろん、オリンピックで金メダルを取るのが目標です。今年から13歳以上の大会への出場となり、平野歩夢選手など一流選手たちと対戦しないといけないので厳しい戦いとなりますが、諦めずに挑戦していきたいです。夢をかなえるために、まずは2月に盤溪で開かれる大会で予選突破を目指します！

